

目次

正副議長就任あいさつ、議会人事	2
常任委員会報告	3
代表質問	5
一般質問	8
審議結果	14
議会だよりモニター通信	15
議会TOPICS	16

Guide to Suwa City Council

市議会だより

新議会スタート!
4年間よろしくお願ひします!



令和元年6月定例会

R1.6.10 ▷ R1.6.26

報告5件

同意2件

承認4件

議案8件

議員議案1件

陳情2件

が審議されました。

見どころ

- ❖ 議会人事が決まりました 2P
- ❖ 女性議員が5名になりました 2P
- ❖ 議会改革推進特別委員会を設置! 2・6・16P

議会人事 第2回（5月）臨時会

正副議長就任あいさつ

伊藤 謙長
浩平



森山 博美



5月臨時会の正副議長選挙におきまして、正副議長に就任することになりました。身の引き締まる思いであり、責任の重大さを痛感しております。

今回の改選により女性議員が5名となり、女性議員の割合は過去最大となりました。これまでの議会改革を加速度的に前進するよう努めて参ります。また、議員同士でも様々な角度から意見を出し合い、課題について議論を戦わせて、より良い合意形成を図り、市議会として市へ提案していきたいと考えております。

市議会へのご支援とご協力を
賜りますよう心からお願ひ申し
上げ、就任にあたつての挨拶と
いたします。

議案審査 総務産業委員会

6月定例会で付託された案件と委員会審査の内容です。

委員長 牛山 智明

庁舎整備基金積立金を補正

◎議案第32号 令和元年度一般会計 補正予算（第1号）

議案の内容

項目	増減金額	主な内容
総務費	3億8,698万1千円	<ul style="list-style-type: none"> 財政調整基金 3億円 平成30年度実質収支見込みによる法定積立 庁舎整備基金積立金 7千万円 現庁舎建て替えに備える建設費用積立 諏訪湖イベントひろば利活用検討事業費 938万円
商工費	74万3千円	<ul style="list-style-type: none"> 一般事業費（観光総務費） 神話にゆかりのある糸魚川市、出雲市との地域間交流事業に係る補正

主な質疑

問 庁舎整備基金積立金について、今後の見通しは。

答 耐用年数を60～70年とすると、向こう10年～20年には、建て替えが必要になる。流動的ではあるが、もし令和20年に建て替えるとすれば、

同13年で基本構想作成、同14年には基本計画（パブリックコメント含む）、同15年基本設計、同16年実施設計、同17年工事着手という形になる。

問 財政調整基金に3億円を積み立てると残高は。

答 今年度末で17億2100万円位の予定である。

問 諏訪湖イベントひろば利活用専門委員会の人選基準は。

答 少数精銳でそれぞれの専門分野に特化していく実務に精通している方を選ぶ。

問 糸魚川市・出雲市・諏訪市の3市による交流事業について、下諏訪町、茅野市等との絡みをどう捉えるか。

答 まずは行政間でスタートさせる

が、その後は6市町村のメンバーで構成される諏訪湖エリアまちなか観光案内人等の民間の方々に活動してもらい、民間レベルでの交流を促進する事業展開を考えていく。

答 が、その後は6市町村のメンバーで構成される諏訪湖エリアまちなか観光案内人等の民間の方々に活動してもらい、民間レベルでの交流を促進する事業展開を考えていく。

採決の結果

全会一致可決。

反対 討論

加盟国内の保有国と非保有国との間の分断にもつながる恐れがある。また、核兵器禁止条約の実効性に大きな疑問がある。核兵器をなくしていくには、実効性を担保にして被爆国日本として活動していくべき。

賛成

唯一の被爆国である日本が積極的に署名・調印と批准をすべきである。核兵器の廃止を今強く主張しないと、永久に廃絶できない。

◎陳情第2号 「核兵器禁止条約への日本政府の署名・調印と批准を求める意見書」の採択を求める陳情書

陳情の内容

核兵器禁止条約への日本政府の署名・調印と批准を求める意見書の提出を求めるもの。2017年に「核兵器禁止条約」が国連会議で国連加盟国の中の3分の2に当たる122カ国が賛成で可決された。このような状況の中、唯一の被爆国である日本も率先して賛成をすべきであるとの内容。

採決の結果

賛成少数で不採択。



議案審査 社会文教委員会

6月定例会で付託された案件と委員会審査の内容です。

委員長 吉澤 美樹郎

◎議案第26号 諏訪市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

議案の内容

本年4月1日に厚生労働省令が改正され、現在、都道府県知事が行っている放課後児童支援員の認定資格研修を指定都市の長も実施できることとなつたことによる条例の改正。

◎議案第27号 諏訪市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

議案の内容

本年4月1日に厚生労働省令が改正され、家庭的保育事業者等に係る連携施設の確保義務の緩和、並びに確保義務の適用猶予期間を5年から10年に延長することなどが規定されたことに伴う条例の改正。

賛成 猶予期間の延長は必要である。緩和をした上で、子どもたちを守り育てる環境づくり、質の維持に尽力してほしい。

採決の結果
賛成多数で可決。

◎議案第32号 令和元年度諏訪市一般会計補正予算（第1号）

議案の内容

主な内容については別表のとおり。

主な質疑

人員確保の面からの規制緩和だと捉えるが、質の低下を招かないか。

答 必要な資格等の要件に変更はなく、質が低下するとは考えられない。

答 研修の費用負担はどうなるのか。

答 現在、県の研修は無料であるため、これに準ずるよう運用されると推測される。

◎議案第32号 令和元年度諏訪市一般会計補正予算（第1号）

議案の内容

事業所の数を増やしたいとのニーズから、緩和になったと推測するが、大事なのは保育の環境、質の方である。市の考え方。

◎議案第32号 令和元年度諏訪市一般会計補正予算（第1号）

議案の内容

主な内容については別表のとおり。

主な質疑

事業所の数を増やしたいとのニーズから、緩和になったと推測するが、大事なのは保育の環境、質の方である。市の考え方。

答 市としては、子どもの育つ環境を一番大切にしている。そのためには必要な支援、指導、勧告等を行いながら、しっかりと責任を果たしていく。

◎議案第32号 令和元年度諏訪市一般会計補正予算（第1号）

議案の内容

事業所の数を増やしたいとのニーズから、緩和になったと推測するが、大事なのは保育の環境、質の方である。市の考え方。

答 市としては、子どもの育つ環境を一番大切にしている。そのためには必要な支援、指導、勧告等を行いながら、しっかりと責任を果たしていく。

えたい。

採決の結果
全会一致可決。

採決の結果

全会一致可決。

反対 討論
子どもの保育環境を守るために、規制の緩和をするのではなく、厳しい基準で臨んでほしい。

◎議案第32号 令和元年度諏訪市一般会計補正予算（第1号）

議案の内容

赤沼保育園の改修により、未満児の受け入れ態勢に余裕は見込まれるのか。

答 安心できるほどの余裕とはいかない。状況を見ながら先の対応は考

項目	増減金額	主な内容
民生費	1億158万6千円	<ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム付商品券発行事業費 6,418万5千円 ・総合福祉事務支援システムの改修委託料 115万8千円 ・幼児教育・保育無償化に係るシステム改修費等 1,621万8千円 ・赤沼保育園への未満児室整備の工事費等 2,002万5千円
衛生費	財源振替	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりプロジェクト事業費 135万8千円 県の地域発元気づくり支援事業に採択されたことにより、一般財源から県の支出金へ財源振替
教育費	423万6千円	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財調査の試掘調査に伴う経費 285万7千円 ・「アートでつながる！まちづくり人材育成プロジェクト」企画展等の経費 137万9千円

市政を
問う

代表質問

《彩風すわ》



牛山 智明



各グループ（会派）が、政策上の問題などについて質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁であり、代表者の文責によるものです。

の取り扱い、会計事務の取り扱いの

3点について、部長会議及び掲示板で周知をはかった。副市長が出席する予定の会議は関係部長が出席するなど、所管部局により対応する。

●副市長任命について

問 副市長の任命が遅れた理由は。

答 副市長は市長のサポート役であり、また市政運営におけるナンバー2の立場であるため、人選にあたっては熟考を重ねてきた。候補となっている方の立場などから、内定しているものの就任までの調整が必要であつたため、時間がかかってしまった。最終的には、副市長の同意案件を提出する。

●霧ヶ峰高原の魅力について

問 副市長空席の間、誰がどのように職務を代行するのか。

答 その間全職員に対し、事務事業における専決及び代決、審議会など

問 副市長の引継ぎはどのようにされるのか。

答 部局ごとにまとめた引き継ぎ書に基づき一旦は市長が引き継ぐ。新副市長就任後、速やかに市長から引き継ぎ書をもつて引き継ぐとともに、部局ごとの勉強会を開催し、主要事業や懸案事項などについて直接副市長に説明する。

●ごみの減量、分別改善、改革について

問 家庭ごみの有料化についてどのようにするのか。

答 有料化の可否について、審議会においては「有効な手段」、「やむを得ない」と一致した意見が出された。市長へ答申予定。

問 諏訪市下水道ストックマネジメントの策定はいつまでに行うか。

答 本年度中に策定予定である。

問 おむつなどを使う家庭への配慮はどのようにされるか。

答 高齢者を介護している世帯、乳幼児のいる世帯に対して、おむつ用の指定ごみ袋を一定期間現物支給するなど負担軽減を図る検討が必要と考える。

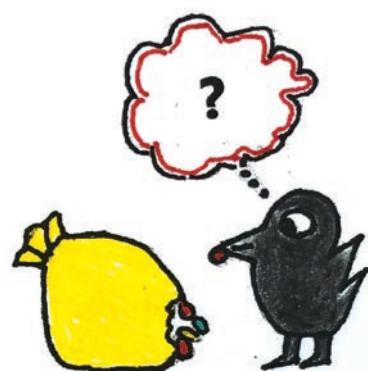
●下水道について

やススキの刈り取り作業など、作業範囲を拡大し実施する。独自に復元活動をしている団体には、環境保全推進事業補助金で支援するほか、復元活動へ参加する小中学校の経費にも使用していく。

問 ニホンジカの食害対策、電気柵、忌避剤の効果は。

答 電気柵の内部では、植物の種類数や花の量が増加し、チヨウや蜂などの昆虫類も増加している模様。忌避剤については、県自然保護課、環境保全研究所が、平成28年度から車山肩で実証実験を実施。忌避剤を散布することによる食害の減少が確認されている。

可燃ごみ有料



《あしたの諏訪》



小松 孝一郎



● 市長が目指す諏訪市の将来像と理
想像は

問 市長は「透明度日本一のまち輝く諏訪の実現へ」と題してマニフェストを公表した。諏訪市の将来像を8項目にまとめ81の施策を掲げている。しかし具体的な将来像が見えにくい。市長が目指す市の将来像と理想像を具体例として説明してほしい。

答 諏訪市には温泉・自然・歴史・文化などいくつかの強みがある。諏訪市に住む人々や訪れる人々がこれらを享受して心豊かに幸せを感じられる、そんな諏訪市にしたい。

問 今後推進する81の施策の優先順位は。

答 全て重要であり同時に並行で進める。中でも新規事業はタイミングが重要であり、時期を見誤ることのないように実施する。

● 大地震のとき、消防団屯所は災害対応拠点として機能できるのか

問 諏訪市は30年以内に震度5強の地震が77%の確率で発生すると予想されている。災害時の消防団の役割は大きい。屯所は重要な災害対応拠点となる。屯所の状況・耐震性は。

答 分団本部屯所は8棟、各部屯所は31棟。本部屯所は昭和56年新耐震基準で建築されているが築30年以上が2棟。各部屯所は新耐震基準不適合が14棟、築60年以上が5棟、築30年以上が19棟。耐震診断はほぼ未実施。実施する計画はない。

問 想定される大地震発生時に屯所が被害を受け、特に倒壊した場合はポンプ車の出動や設備備品の搬出ができない。屯所の管理、改修、建て替えに対する市の考えは。

答 屯所は市に寄贈されており市の※行政財産。本部屯所の改修建て替えは市が行うこととなる。各部屯所は地元地区と消防団が協議の上決定する。建て替えは一部補助がある。※行政財産：道路、公園など、公の目的に供される財産のこと



築70年超の消防団屯所

問 少子高齢化・人口減少の中、地区や消防団は多くの課題を抱えている。他の市町村では防災減災対策として「消防団屯所設置整備事業」を計画し、自治体が主体的に耐震診断や必要に応じ改修・建て替えを行っている。諏訪市の考えは。

答 動きは知っている。しかし各部屯所は地区公民館と同様に自らの積み立て等を基本に補助を使って建て替えるという考え。諏訪市は諏訪市の考え方で進めたい。

要望

市民の生命・財産・安全を守ることは市の最も重要な責任。災害時の消防団の円滑な活動を保証するため、せめて屯所の耐震診断は市の責任ですべきではないか。屯所の実情を把握していただきたい。

「特別委員会」について

用

特別委員会とは、議会が特に必要と認める事項の審査又は調査をするために、その都度議決により設置される委員会です。当該事件の審査が終了すると消滅します。

諏訪市議会では議会基本条例の理念を具現化し、議会改革を継続的に発展させるため、ここで新たに「議会改革推進特別委員会」を設置しました。社会の変化に迅速に対応し、議会のあり方を見直し、活力ある議会を目指します。

語

解

説

そのほかの特別委員会としては、予算・決算審査特別委員会や、国道バイパス特別委員会などがあります。



井上 登



●公的医療保険は平等に

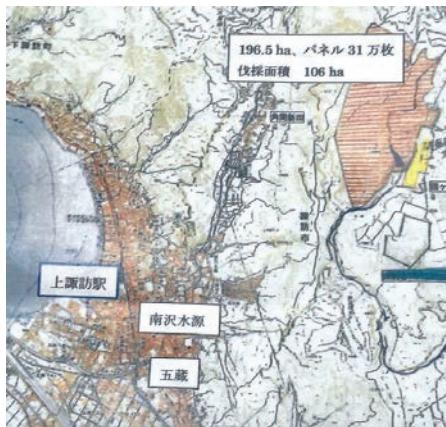
問 国民健康保険の今後の激変緩和措置と保険税はどう変化していくのか。

答 平成30年度は約1億2千万円、31年度は約1億8千万円の激変緩和措置を受けている。30年度の決算は激変緩和措置がなければ単年度では赤字になっている状況。激変緩和がなくなる4年後を見据えて税率を見直していく。

問 国民健康保険と他の公的医療保険との比較、手当、制度の違いは何か。

答 他の保険には扶養という概念があるが国保はない。また国保には傷病手当や出産手当金がない。

問 所得に対する1人当たりの保険料負担率は、国保では10%、協会けんぽ7.6%、組合健保5.8%。本市では年収400万円の4人家族では、国保税約37万円、協会けんぽでは19万



四賀メガソーラー建設予定地

問 現在の状況は。長野県環境影響評価条例の手続きに沿って、準備書の作成が進められている。

問 どうなる四賀メガソーラー

答 公平性の面で問題。国で法定化されるよう要望していく。

答 地域の保険税をなくせば協会けんぽ並の保険税になる。全国知事会、市長会は国保を協会けんぽ並にすることを国に要求している。市長の考えは。国庫負担の引き上げや公費の投入について国に対しても要望していく。

答 子育て世帯の負担軽減を図るために、子どもに係る均等割を軽減する考えは。

の該当地区は。

答

環境アセスの準備書の手続きが終了した後、諒訪五蔵などの水利用に影響のある水源利用者を説明対象に加えるよう市から開発業者に協議を申し入れる。

●高齢者の移動手段、対策は

問 カリんちゃんバスの利便性向上は。

答 車両の小型化や必要便数を確保したダイヤ改正を実施。経費は一般財源ベースで1億円。

問 許可・登録を要しない輸送の現状は。

答 規制が緩やかにされているので研究を進める。

グループ(会派)メンバー紹介

《彩風すわ》

牛山 智明	牛山 正
横山 真	藤森 靖明
吉澤美樹郎	近藤 一美
小泉 正幸	小山 博子

《あしたの諒訪》

小松孝一郎	岩波万佐巳
高木 智子	

《日本共産党諒訪市議員団》

井上 登	廻本多都子
------	-------

※正副議長はグループから離脱します

用

「代表質問」について

語

解

説

代表質問は、当該議会に所属するグループ(会派)を代表して行う質問のことをいいます。諒訪市議会では「グループ(会派)の代表質問通告者が行う」と定めています。

市民の方から、同じ代表質問でも2時間される議員もいれば、半分の1時間の議員もいますが、なぜですかという質問を受けました。

8名のグループの場合は、質問者本人が50分+ (本人以外の議員が7名×10分) 70分=120分で2時間となります。また2名のグループの場合は、質問者本人が50分+ (本人以外の議員が1名×10分) 10分=60分で1時間となります。このように

グループの人数により代表質問の時間は決められています。

ここが
聞きたい

一般質問

市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。



牛山 正



松くい虫被害の様子
写真提供：長野県林業総合センター

●**山林の多面的な機能発揮**

問 松枯れ対策の具体的な取り組みは。

答 松くい虫被害の拡大が始まっている地域においては、被害木の「早期発見、早期処理・駆除」が最も有効な対策である。今年度からは森林環境譲与税を活用し「松枯れ巡回員」2名を新たに配置し監視していく。また、林野関係団体の協力や

広報、ホームページを通じて呼びかけるなど、被害拡大防止の体制を整えている。

●**諏訪市の工業振興将来ビジョン**

問 諏訪市工業振興ビジョン2017-2021の進捗状況は。

答 10年後の諏訪市の工業が目指す姿「確かな技術と絶え間ない革新に選ばれ続けるものづくり地域SUWA」を示した「諏訪市工業振興ビジョン2017-2021」を工業振興審議会の審議を経て策定した。

ビジョンの目標指標は計画に従つて順調に推移している。今後さらに変動の激しい昨今の国際動向等を注視しながら、施策展開を図り生産性の拡大、技術向上を図っていく。

●**イノベーションの創出**

問 産学官連携の取り組みは。

答 産学官連携は、国の方創生推進交付金を活用し、信州大学、秋田大学とで教育研究プログラムに関する学部間協定を結び、諏訪東京理科

大学、JAXA、産業技術総合研究所、長野県工業技術総合センターの支援を受け、新技術の研究、活用、高度化に対応できる人材育成を図っている。

●**開発センター設置の考えは。**

問 駅周辺市街地あり方検討会での提言を受けて、諏訪湖イベントひろば活用のコンセプトを「産業振興・技術開発・観光振興・雇用拡大の活動拠点ゾーン」としてまとめ、「旧東洋バルヴ諏訪工場跡地活用基本構想」が策定されているので、産業系の開発センターの設置の可能性については今後旧東洋バルヴ諏訪工場跡地の活用の中で検討していくものと考えている。

答

開発センター設置の考えは。駅周辺市街地あり方検討会での提言を受けて、諏訪湖イベントひろば活用のコンセプトを「産業振興・技術開発・観光振興・雇用拡大の活動拠点ゾーン」としてまとめ、「旧東洋バルヴ諏訪工場跡地活用基本構想」が策定されているので、産業系の開発センターの設置の可能性については今後旧東洋バルヴ諏訪工場跡地の活用の中で検討していくものと考えている。

問

開発センター設置の考えは。駅周辺市街地あり方検討会での提言を受けて、諏訪湖イベントひろば活用のコンセプトを「産業振興・技術開発・観光振興・雇用拡大の活動拠点ゾーン」としてまとめ、「旧東洋バルヴ諏訪工場跡地活用基本構想」が策定されているので、産業系の開発センターの設置の可能性については今後旧東洋バルヴ諏訪工場跡地の活用の中で検討していくものと考えている。

答

開発センター設置の考えは。駅周辺市街地あり方検討会での提言を受けて、諏訪湖イベントひろば活用のコンセプトを「産業振興・技術開発・観光振興・雇用拡大の活動拠点ゾーン」としてまとめ、「旧東洋バルヴ諏訪工場跡地活用基本構想」が策定されているので、産業系の開発センターの設置の可能性については今後旧東洋バルヴ諏訪工場跡地の活用の中で検討していくものと考えている。

答

●**健康増進策への取り組みは?**

問 本年度より健康づくりポイント制度が始まつたが、事業概要と市民の反応は。あわせて公共ポイント実証実験事業との関連性、今後の展開については。



吉澤 美樹郎



禁煙してポイントをもらおう

答 諏訪市では、「一人1スポーツ」を掲げ、市民に様々な運動の機会を提供し、運動の習慣化を促すよう取り組んでいる。昨年も多種な教室を開催し、延べ約2700人の方に参加いただいた。また、保育園に

答

本事業は、特定健診や人間ドック等の受診、又は特定保健指導を受ける等の対象10項目について、20歳以上の方に「すわともカード」へポイントを付与する制度となっている。

答

本事業は、特定健診や人間ドック等の受診、又は特定保健指導を受ける等の対象10項目について、20歳以上の方に「すわともカード」へポイントを付与する制度となっている。

● 医療と介護の連携推進が課題解決となるか？



廻本 多都子



問　国は災害時の対応、整備を推進しているが、福祉避難所の整備状況はどうか。

答　災害時には一次避難所で困りごととなるか？

問　食は旅の楽しみであるが、諏訪らしい地産食材の奨励にはどう取り組まれているのか。また、食の楽しみ方やさらなる食の開拓など、今後に向けた取り組みについて。

答　食を通した魅力の発信は、大変重要な視点であると認識しており、「推せん土産品」認定制度を活用し、積極的なPRや情報発信に取り組んでいる。今後は、インバウンドをターゲットに、そば打ち道場などの体験型メニューの充実を図り、民間が研究する高級魚の陸上養殖システムなど、新たな食の開発にも目を向けて情報共有に取り組みたい。



おいては「運動あそび」を実施しており、体を動かすことが好きな子どもが増えるよう、今後もしっかりと取り組みたい。

● 諏訪の魅力をどう楽しむ？

問　食は旅の楽しみであるが、諏訪らしい地産食材の奨励にはどう取り組まれているのか。また、食の楽しみ方やさらなる食の開拓など、今後に向けた取り組みについて。

答　食を通した魅力の発信は、大変重要な視点であると認識しており、「推せん土産品」認定制度を活用し、積極的なPRや情報発信に取り組んでいる。今後は、インバウンドをターゲットに、そば打ち道場などの体験型メニューの充実を図り、民間が研究する高級魚の陸上養殖システムなど、新たな食の開発にも目を向けて情報共有に取り組みたい。

問　高齢者の入院から施設または在宅への流れはどうか。スマートか。

答　連携推進協議会で症例を3つのパターンに分類し、それぞれ時系列で医療・介護・行政の係る相互情報共有の役割・方法を示した。

問　高齢者の入院から施設または在宅への流れはどうか。スマートか。

問　特別養護老人ホーム（特養）やショートステイなどは直接家族が申請するようになつたが、施設は充足しているか。

答　特養の待機数は前年比42名の増。シヨートステイは施設側のアンケート調査ではサービスが不足との回答が最も多かつた。市の特養はシヨートから転換し17床増床した。

問　特別養護老人ホーム（特養）やショートステイなどは直接家族が申請するようになつたが、施設は充足しているか。

答　特養の待機数は前年比42名の増。シヨートステイは施設側のアンケート調査ではサービスが不足との回答が最も多かつた。市の特養はシヨートから転換し17床増床した。

問　学校ビジョンの具体化は。子どもたちを取り巻く環境は貧困・いじめなど課題が多いがその状況はどうか。

答　未来創造ゆめスクールプランは、今後30年かけて現11校を小中一貫校3校としていくプランで、その先駆けで城北小、高島小、上諏訪中を併合（施設一体）する計画。取り組みの中で、いじめはまだまだ見えないところがあるが、その発見件数は増加している。

問　教職員の数はどうか。先生たちの過重労働が取り沙汰され、時間短縮化も考えられているが、環境整備には欠かせない。人員体制は。

答　教育内容の質は落とせない。より良い授業をするために、仕事量など少しでも削れるところを考える。

要望　子どもたちのために、非正規を増やすより正規職員の増加を。

問　移植で失った免疫を回復させるため行う予防接種の支援制度はあるか。

答　ドナー登録者増に向けた取り組みを強化しながら、県の支援体制に合致した取り組みを、ドナーとドナーが勤務する事業者に行う。

問　骨髄バンクドナー助成事業補助金の活用を

問　骨髄バンクドナーの負担を軽減するため、市の支援の取り組みは。



小山 博子



即日ホームページがわかりやすく更新された

答 予防接種を受けた場合の費用を補助する制度を創設した。

ともに関連付けて、ホームページに分かりやすく掲載をしてほしい。

●精巣捻転症の周知を図るには

問 精索がねじれ、精巣に血液が流れなくなる病気。発症は生後間もなくなる。新生児や、10～15歳の思春期に多い。発症から6～8時間以内に精索のねじれを解消しないと精巣の機能は回復できないと考えられている。

突然の陰嚢の激しい痛みと腫れで発症し、おなかの痛みや吐き気を伴う。新生児期での周知方法はないか。

答 赤ちゃん訪問の際に配るパンフレットを通して、周知を図っていきたい。

● 「一人で悩まないで@長野」の活用を

問 SOS発信の一つの手段として周知する方法はないか。

答 今月下旬に県から「周知力」手段としては「保健だより」があるが、個別の病気の周知は学校、養護教諭と整理検討する。

思春期の周知方法は。

●諏訪湖創生ビジョンの具現化に向けた諏訪市の取り組みと課題は

問 「諏訪湖の日」が10月1日に制定されるが諏訪市としてどのようなかかわり方をするのか。

答 諏訪湖創生ビジョン推進会議には2つの部会があり、水環境保全部会には生活環境課と企画政策課が、湖辺面活用・まちづくり部会には企画政策課、観光課、建設課、都市計画課、スポーツ課、農林課が参画している。各部会それぞれの取り組みテーマに沿って、また必要に応じて設置されるワーキンググループにおいて諏訪市として積極的に参画し、官民一体となって諏訪湖創生に取り組む。

（左）諏訪湖創生ビジョン推進会議議長 横山 真

（右）諏訪市長 横山 真



- 諏訪湖創生ビジョンの具現化に向けた諏訪市の取り組みと課題は

問 〔諏訪湖の日〕が10月1日に制定されるが諏訪市としてどのような

答 謙訪湖創生ビジョン推進会議には2つの部会があり、水環境保全部

An aerial photograph capturing a coastal landscape. In the foreground, a large body of water is covered with a thick, green, algal bloom, characterized by distinct, irregular patches of varying shades of green. A narrow, dark, winding strip of land or causeway extends from the bottom center towards the center of the bloom. To the left, a coastal town is visible, with numerous buildings and houses built along the shoreline. To the right, a steep, densely forested hillside rises, with a mix of green trees and some lighter-colored, possibly dead or dying, vegetation. The sky above is a clear, pale blue.

諏訪湖のヒシ（ドローンにて撮影）

●大量のヒシ取り対策の実施を！

問 ヒシ除去対策の強化が求められているが、諏訪市で拡大実施し湖畔をきれいにする考えは。

答 諏訪湖の管理者である長野県が責任をもつて実施することが大原則である。

●大量のヒシ取り対策の実施を!

問 ヒシ除去対策の強化が求められているが、諏訪市で拡大実施し湖畔

答 谷川： 責任をもつて実施することが大原則をきれいにする考え方は、諏訪湖の管理者である長野県がである。

答 情報を共有し防災意識の向上を図る。防災機能向上のためのハード対策として、ため池への監視カメラや水位計設置など、地域住民に情報を速やかに伝えられる監視システム導入など危機管理室と連携し検討したい。

問 情報を共有し防災意識の向上を図る。防災機能向上のためのハード対策として、ため池への監視カメラや水位計設置など、地域住民に情報を速やかに伝えられる監視システム導入など危機管理室と連携し検討したい。

答 情報を共有し防災意識の向上を図る。防災機能向上のためのハード対策として、ため池への監視カメラや水位計設置など、地域住民に情報を速やかに伝えられる監視システム導入など危機管理室と連携し検討したい。

問 完成予定とおおむねの各工程の日程は。

答 本計画は、県、ネクスコ中日本、岡谷市、諏訪市がかかるもので、単なる道路整備だけでなく地域全体の産業や観光との有機的連携を図り、諏訪地域の活性化を目指している。また、2027年開業が予定されるリニア中央新幹線駅との連携により、交通拠点としても期待する。完成目標は工程を含めて関係機関と調整中。



●スマートインターフェース

日程は。
問 完成予定とおおむねの各工程の

答 本計画は、県、ネクスコ中日、本、岡谷市、諏訪市がかかるもので、単なる道路整備だけでなく地域全体の産業や観光との有機的連携を図り、諏訪地域の活性化を目指して いる。また、2027年開業が予定されるリニア中央新幹線駅との連携により、交通拠点としても期待する。完成目標は工程を含めて関係機関と調整中。

スマートインターチェンジが開設されれば当然在来の県道の交通量は増加する。それを前提に、渋滞対策等開設前の前倒しの拡幅等の計画や実施予定は。

新設県道の安全第一の設計構想は。有賀ハザードマップに準拠した
新設県道は長野県が設計を進めており、安全第一として進めていく
市としても引き続き継続して安全設
計を要望していく。

問 アプローチ道路の市道不接続は良い案。ただ、現状に比べて新市道が不便にならず通行しやすい施工案や構想は。

答 地元住民など道路利用者の声を聞き、地元の要望ができるだけ活かせるよう進める。

問 おおむねの総予算額、国負担額、県負担額、市負担額は。
答 今年度詳細設計を行い全体事業費を算出予定。県においても概略設計を行う予定とのこと。国の補助事業に採択されれば、事業費の半額が国費となる見込み。

● **有賀地区のハサードマップ**

問 「てんでんこ」が各個人で速やかに行動できるようになるため、講演、勉強会、指導会などの実施予定は。



諏訪味噌醸造(株)の廃工場

答 平成28年より、区より4回相談を受け都度現地確認を行い、書面や電話でも意向確認・指導等をしてきた。所有者からは、応急対応を行う旨の報告を受けている。空き家の管理は所有者の責務であるが、状況が進まないため、「諏訪市特定空家等判断基準マニュアル」による調査に着手している。

●豊田有賀地籍にある諏訪味噌醸造
(株)の廃工場

アンケート結果では、来店者が増えた店舗は18%、売り上げが増えた店舗は14%、地域の活性化が図れたと考える店舗は30%で、一定程度の経済効果が出ていると思われる。



すわともカード

●**公共ポイント実証実験事業**
答問
平成30年度の状況は。
平成30年度



岩波 万佐巳



●消防団について

問 消防団員の定数の見直しは。
答 国から示された旧「消防力の整備指針」の算定方法による所要人数地域の実情に合わせた各分団からの報告数、また地震等の災害時の対応も勘案して現在検討している。来年度から実施予定で、12月議会に諮りたい。

答 再編枠内の小中学校及び保育園の保護者、地域、学校の代表者等21名で構成し、委員会内に総務・通学・学校・事務・PTA・同窓会・コミュニケーションスクールの7部会を設置し、必要事項を協議・決定する。委員会は2ヶ月に1回、部会は月1～2回開催。今年度中に方針を定め る。委員会は公開。

●豊田有賀地籍にある諏訪味噌醸造
ス性が高まり交通量の増加が予想され
れる。地元住民の声を聞き県とも協
議し、利便性の高い道路構造を目指
す。

答 平成14年「東海地震の地震防災対策強化地域」の指定を受け、諏訪6市町村と諏訪広域連合が協力し、毎年諏訪広域防災後援会を開催してきた。本年は7月20日に下諏訪町で開催予定。出前講座も、昨年は16回実施。

答 2年度目の取り組みについては
15課61の行政メニューに加え、
健康推進課では新たに「健康ポイント」
を連携実施することとした。市
内店舗への送客と行政メニューの認
知度向上と利用促進を図る。

問 ポンプ操法大会のあり方は消防団加入の最大のネックになっている。辰野町では競技型から実践型へ、茅野市ではチーム編成新制度を導入。順番制はどうか。どのように考えるか。

答 見直す時期と認識している。当番制の導入や訓練期間の短縮等選択肢に成り得ると捉えている。



近藤 一美



●すわっチャオの駐車場、3時間無料が市民の強い要望だ

問 郊外からは車で行きたい方が圧倒的に多い。今の料金体系では利用者の負担が高くなり過ぎるので改善を望む。

答 駐車場料金に関しては、年間2千百万円を固定費として負担している。市民の皆様から様々な要望や意見があることは十分認識している。まだオープンして1ヶ月、各種の分析をし、データを積み上げる必要があると考えている。なお、1ヶ月の来館者数は2万4千人を突破、一日

平均800人となり、目標の350人を大幅に上回り順調に推移している。

●神々の縁、諏訪市・糸魚川市・出雲市との連携に期待！

問 神話の時代から深い関係があり、歴史ブームの中で、今後の観光振興にどのように取り組んでいくのか。

答 まず3市の交流を深めることから始め、今年度はパンフレットを作成する。

すわっチャオ駐車場
日曜日の午後でもゆとりあり
3時間無料が望ましい

●シルバー人材センターの登録者、最高年齢は89歳

問 市はどのような補助、支援を行っているのか。

答 元気な高齢者の活躍の場として、働くことが生きがいに通じるように、運営費として年間880万円の補助、「広報すわ」への会員募集掲載、市の施設管理のための業務発注などの支援を行っている。



森山 博美



●連続立体交差を諏訪市の未来へ

問 現国道20号は、踏切の遮断による渋滞が慢性的に発生している。バイパスが確実かつ順調に進行すれば、現国道20号は県道か市道になる。諏訪市の未来の発展を考えたとき、現国道が国道であるうちに職員を1名配置し、バイパス要望と並行して連続立体交差事業の要望活動を行うことはできないか。

答 連続立体交差事業は、事業主体

要望 新規採用した「地域おこし協力隊」、14年の歴史を持つ「諏訪湖エリアまちなか観光案内人」55名の力を活用していただきたい。

●どう考える？ごみ出し支援

問 ごみ出しに伴う事故や「ごみ捨て場が遠くてつらい」等の声を聞いているが、高齢化が進む中、今後のごみ出し支援についてどう考えるか。伊東市では高齢者や障がい者などごみステーションに家庭ごみを搬出することが困難な市民のために、個別の安否確認を含めた「ふれあい収集」を本年7月から実施する。このような支援はできないか。

答 ごみステーションは市内に約400カ所あり、各区において管理。



国道20号の踏切

今後、支援策が必要と認識していると考

- 諏訪市の財政
- 問 予算編成の仕組みは。
- 答 決まりはなく、各自治体による。本市は各部局が集まり、予算編成会議をして方針を示す。各部局が方針に従い予算要求をする。いくつかの段階で査定をし、市長が予算案を作



高木 智子



- すわ☆あゆみステーション窓口
- 問 設置目的は。
- 答 多様化する子育ての悩みを解決するため、各種支援策を有機的につなぎ、安心して子育境整備を整えるため設置した。悩みをど

- すわ☆あゆみステーションに期待
- 問 設置目的は。
- 答 多様化する子育ての悩みを解決するため、各種支援策を有機的につなぎ、安心して子育境整備を整えるため設置した。悩みをど

- 河川氾濫などの災害時の避難場所
- 問 広域避難所に行けない場合の避難所対応は。

- 保育ニーズの多様化に対応した保育施設とこれからの保育行政
- 問 子育て世代の保育ニーズは。
- 答 働き方改革、女性活躍社会の推進、幼保無償化などの施策と相乗し高位に推移するとともに、保育に求められる期待は多様化していくと予測。

- これから保育所整備・保育所運営に係る基本的な考え方は。
- 答 将来を見据えた保育所の再編整備の考え方などを示した「基本方針」の策定に取り掛かり、方針

- 市職員の働き方改革
- 問 時間外勤務短縮の取り組みの現状は。
- 答 時間外勤務の縮減・抑制のため、ノー残業デーを設けている。昨年から夏の時期限定で早出により夕方の時間を有効に使う「ゆう活」を導入。好評により今年も7月から9月に実施予定。

- 財政について市民の理解を促すために、待ちの姿勢ではなく能動的な啓発はしているのか。
- 答 よりあい塾のメニューとして用意してあるが近年は講座の申し込みがない状態。ホームページでの公表、広報すわへの掲載はしている。市民と協働して問題解決に向かっていくためには、理解していただくことが必要。

- 利用者の評価は。
- 答 全体として相談件数は伸びている。発達や教育に関する分野の相談が増えた。今まで教育相談室では受けたことのない種類の相談もある。どこに相談に行つたらいいのかわからなかつた保護者の悩みを少しづつ共有できているのではないかと思う。

- 防災計画や避難に関連するマニュアル等の市民への告知状況は。
- 答 「警戒レベル」を用いて防災情報を発信し、「自らの命は自らが守る」という意識の徹底や自発的な避難判断・行動ができるよう出前講座や「広報すわ」、ホームページ等を通じ周知に努める。

- る。審議会からも家庭系ごみの有料化を検討する中で、手数料を財源とし、ごみステーションの増設やゴミ出し支援策に充てるべきと意見がある。伊東市の事例等も参考にしながら検討していく。

- 予算編成で大切にしていることは。
- 答 国政の動向をみると、日ごろから準備を整えて乗り遅れないようには。チャンスをとらえる。

- 業務内容は。
- 答 0歳から18歳までの子どもとその家庭、妊娠婦等の困りごとに関する総合相談、支援をしている。課の垣根を超えた横の連携、そして市役所内外の垣根を超えた連携をする。こども課内に発達支援室を新設した。

- 防災気象情報システムの河川力メラにより、ライブ映像などで総合的に判断し、避難所を開設する。日頃から複数の避難所、避難経路等を想定し、地区や家族でも話し合いができるようにした。
- 頃から複数の避難所、避難経路等を想定し、地区や家族でも話し合いを持っていたことを勧める。

(案)についてはパブリックコメントの機会も予定している。



賑わったコーヒーフェスタ

● 地域の特性を生かしたまちづくり

と観光振興

問 上社周辺の観光資源を活用した沿道景観形成計画の進捗は。

答 上社周辺地域では、地元住民を中心、「上社周辺まちづくり協議会」が発足し活動がされている。これらの団体と協力しながら、市内関係課（観光課、生涯学習課など）とも連携し、歴史的建造物の保全・活用、歴史的景観の保全、観光機能の充実のための整備など、具体的な施策を研究し、まちづくりを進める。

審議結果

《全会一致とならなかった提出案件審議結果と各議員の賛否一覧》

○…賛成 ×…反対 なお、議長（伊藤浩平）は採決には加わりません。

区分	番号	件名	岩波万佐巳	牛山智明	井上登	廻本多都子	近藤一美	小松孝一郎	横山真	小山博子	高木智子	牛山正	藤森靖明	森山博美	吉澤美樹郎	小泉正幸	議決結果
議案	27	諏訪市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案	29	諏訪市剪定木等リサイクル施設条例の一部改正について	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情	1	「米軍基地負担に関する意見書」の採択を求める陳情書	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	不採択
陳情	2	「核兵器禁止条約への日本政府の署名・調印と批准を求める意見書」の採択を求める陳情書	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	不採択

《全会一致で可決・採択された案件》

- 報 告 第4号 平成30年度諏訪市一般会計繰越明許費繰越計算書について
- 第5号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額を定めるについて）
- 第6号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額を定めるについて）
- 第7号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額を定めるについて）
- 第8号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額を定めるについて）
- 同 意 第2号 副市長の選任について
- 第3号 固定資産評価員の選任について
- 承 認 第1号 専決処分の承認を求めるについて（平成30年度諏訪市一般会計補正予算（第8号））
- 第2号 専決処分の承認を求めるについて（諏訪市税条例等の一部改正について）
- 第3号 専決処分の承認を求めるについて（諏訪市都市計画税条例の一部改正について）
- 第4号 専決処分の承認を求めるについて（諏訪市国民健康保険税条例の一部改正について）
- 議 案 第26号 諏訪市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 第28号 諏訪市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
- 第30号 市道路線の廃止について
- 第31号 工事請負契約をするについて
- 第32号 令和元年度諏訪市一般会計補正予算（第1号）
- 第33号 諏訪市特別職の職員の退職手当に関する条例の一部改正について
- 議員議案 第2号 議会改革推進特別委員会設置に関する決議について



議会だより《モニター通信》



◆第3期議会だよりモニターが始動！

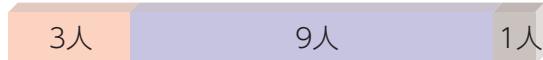
第2期議会だよりモニターがこの7月で任期を終えました。1年間様々なご意見をいただき、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げるとともに、今後ともお力添えをいただければ幸いです。

そして、議会だより第76号にて募集をした第3期議会だよりモニターですが、継続の方を含め、15名の方にお申込みをいただきました。新たなモニターの方のご意見も取り入れ、より親しみやすい議会だよりになるよう改善に努めます。

◆議会だより第76号のアンケート結果は以下のとおりです。

良い まあ良い 普通 あまり良くない 良くない

1. 本誌の内容はわかりやすいと思いますか。



2. 表紙や見出しついてのイメージはいかがですか。



3. 紙面構成、レイアウトはいかがですか



4. 写真や図の使い方はいかがですか。



感 想

- 見た目も明るく希望あふれる内容になっている。情報を発信するだけでなく市民に分かってもらえるよう努力されていることが伝わってくる。
- 我々の納めた税金に大きくかかわる予算が主な内容だったので、じっくり読ませていただき理解できた。
- 表紙はいつもの本会議場の様子とは違い、外での活動の写真でよかった。
- 議員の写真は笑顔が良い。市民との親しみやすさが感じられて距離が近くなる。



モニター 議会だより編集委員

ご意見・ご提案への回答

見出しが簡潔で分かりやすいが、答弁内容が紋切型調子なので目に付く。

文字数の都合で仕方のない部分もあります。なるべく少ない文字数で伝わるよう努力します。

各常任委員会の報告が1ページにまとめられているが、もう少し詳細を知りたい。議員の一般質問を削っても委員会のページを増やしてはいかがか。

できるだけ詳しく記すよう努めていますが、限られた紙面の中では難しい状況です。委員会も公開しておりますので、ぜひ傍聴もご検討ください。

内容的には限られたスペース内で完結にまとまっている。一部「公共施設等総合管理計画」等の用語の解説があればうれしい。

難しい語句については注釈をつけるなど、出来る限り工夫していきたいと思います。なお、公共施設等総合管理計画とは、公共施設の老朽化に伴い、効率的な公共施設の運営や管理、最適な配置を行い、財政負担の軽減や標準化を図っていくための計画のことを行います。

議会 TOPICS

議会改革推進特別委員会を設置しました！

改選前より議会のあり方等検討会を立ち上げ議会改革を進めてきましたが、ここで新たに「議会改革推進特別委員会」を設置することとなりました。委員は7人です。前検討会から申し送り事項（議会先例集の見直し、基本条例の検証、市民との意見交換会）に加えて、開かれた議会をコンセプトに諏訪市議会傍聴規則の見直しも始めています。もっと議会が身近に、誰でも議会傍聴を気軽にできるように検討していきます。

＼議会に参加しましょう／

9月定例会は、**8月26日(月)**招集予定です。詳しい日程は、招集日のおよそ2日前に決定する予定です。



議会を傍聴しましょう！

諏訪市議会では皆さんの傍聴をお待ちしています。本会議は予約不要で傍聴できます。ご希望の方は、諏訪市役所議会棟2階の議会事務局窓口までお越しください。また、その際には公共ポイントの引きかえ券もお渡ししていますので、ご利用ください。



請願・陳情を出しましょう！

議会に対して陳情書等を提出することができます。ご意見や要望がある方は、議会に文書でご提出ください。締切りは**8月16日(金)正午**までです。提出方法など、詳しくはお問い合わせください。



議会をテレビ・パソコンでみましょう！

本会議の様子は、LCVの「かりんちゃんねる」で生中継しているほか、過去の代表・一般質問の映像をYouTubeにアップしています。下のQRコードを読み込むと、動画一覧ページに移動しますので、ぜひご覧ください。また、本会議の会議録は、図書館、市役所ロビー、ホームページ、議会事務局で閲覧することができます。



諏訪市議会



9月定例会のテレビ中継日程予定

月 日	会 議
8月26日(月)	提案説明
9月2日(月)	代表・一般質問
9月3日(火)	一般質問
9月4日(水)	一般質問
9月17日(火)	委員長報告、採決

※中継日程は変更になる場合があります。

※質問内容は8月27日(火)頃ホームページに掲載予定です。

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
牛山	近藤	岩廻	森		
山	山	藤	波	本	山
博	一	万	多	都	博
正子	美佐	巳	子	都	美

議会だより編集委員会

第3期のモニター公募も行われ、15名の市民の皆さんのが、モニターとしてご参加くださいます。ご意見を頂戴しながら、丁寧で興味深い紙面を目指してまいります。開かれた議会を目指し、「議会改革推進特別委員会」を設置いたしました。市民の皆様により身近に感じていただけるように努力いたします。ご愛読いただき、ご意見をいただきますようお願いいたします。

森山 博美

平成最後の諏訪市議会議員一般選挙で、新しい議員編成での諏訪市議会がスタートしました。令和元年の6月議会より、新しい編集委員会で「議会だより」を引き継いでまいります。

編集後記

お問い合わせ：諏訪市議会事務局 〒392-8511 長野県諏訪市高島1-22-30

TEL/FAX 0266-53-0261(直通) mail:suwashigikai@city.suwa.lg.jp

発行／諏訪市議会 編集／議会だより編集委員会 ホームページ:www.city.suwa.lg.jp